

子供政策総合推進本部

令和8年1月30日（金）



本日の議事

- 本部長挨拶
- こども未来アクション2026
- 「叶えたい」を支えたい アクションプラン2026



こども未来アクション2026

こども未来アクション2026(概要版)

- 子供目線で捉え直した政策の「現在地」と、子供との対話を通じた「継続的なバージョンアップの指針」として毎年度策定
- 本アクションに基づき、チルドレンファーストの東京の実現に向けて、具体的なアクションを実践

子供の意見やエビデンスに基づく子供政策の推進

子供の声を聞き、政策へ反映する仕組みが、都庁内に「浸透」

✓ 多様な手法で子供の声や実態を把握

18,000人の子供の意見

- ◆ 子供の居場所におけるヒアリング
- ◆ こどもワークショップ
- ◆ SNSを活用したアンケート
- ◆ こども都庁モニター
- ◆ 出前授業
- ◆ 中高生 政策決定参画プロジェクト



子供ヘフィードバック

中高生 政策決定参画プロジェクト

→ 子供が都政にダイレクトに参画



知事への政策提案

提案内容を、「中高生アントレプレナーシップ実践事業」として、令和8年度予算案に反映

今後のアクション

「子供の声を政策に反映」を、都全域に定着

■ 子供への意見聴取等に取り組む区市町村を支援 新

- 都が蓄積してきた子供との対話の事例やノウハウを活用しながら、区市町村における意見聴取の取組を支援

【事業内容】



相談窓口の設置



子供の意見聴取
入門講座



ファシリテーター
育成研修



意見聴取の取組に
要する経費を支援

子供に関するエビデンス (実態や意識)

- ◆ 子供に関する定点調査
「とうきょう こども アンケート」

【調査対象:10,500世帯】



子供の意見を踏まえ、
マンガ形式で結果を紹介

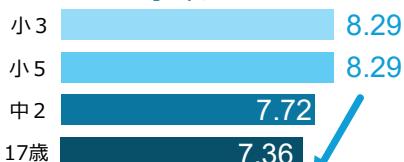
とうきょう こども アンケート

- 子供に関する実態や意識の変化を継続的に把握

幸福度「今の自分は幸せだ」



学年別



東京の子供は「今の自分は幸せだ」について肯定的に評価している割合は高いが、学年が上がるにつれて減少傾向

子供とつながる情報プラットフォーム

東京に魅力を感じ、都政に興味・関心を持つことができる情報プラットフォームを構築し、都内全ての子供一人ひとりに寄り添ったサービスを提供

東京都こどもホームページ

東京都こどもホームページは飛躍的に成長

- ・子供の声を基に継続的にアップデート
- ・楽しみながら学べるコンテンツ
- ・公立小学校一人1台端末への接続を推進

2025年

累計年間閲覧数 **2億PV超** 見込み
ページビュー

東京都こどもホームページ



1日あたり
最大約9万人 訪問

Tokyo中高生Webサイト

中高生と一緒に、「都政への玄関口」としてのサイトを構築

- ・中高生によるワークショップや編集会議などの活動
- ・12月ベータ版公開、サイト名称投票開始



▶ 2026年3月 本格稼働予定

今後のアクション

- 子供たちの「もっと知りたい」という知的好奇心を満たすコンテンツの充実強化
- 子供たちの不安や悩みに寄り添う機能を充実
- 子供にとっての「都政への玄関口」として、各局等HPへの接続を強化

東京都こどもホームページ

- AIを活用して、楽しみながら学べる機能を新設
- ・AI日本語入門 等

Tokyo中高生Webサイト

- 中高生目線で情報発信を行うコンテンツを新設
- ・"みんな"で"Cool-Tokyo"(仮)を発信 等

東京都こども基本条例の普及啓発

全ての子供が誰一人取り残されることなく、あらゆる場面で社会の一員として尊重され、健やかに育つ環境を整備するため、**子供をはじめ、全ての都民に条例の基本理念を普及啓発**



今後のアクション

子供への普及啓発

- 子供が楽しく学べる機会や主体的に参画する機会を創出し、条例理解を促進
- 小中学校等への条例ワークショップ 拡等



大人への普及啓発

- 東京都こども基本条例ハンドブックや解説動画を活用し、広報や研修等を展開
- 地域の自治会等が参加する会議での普及啓発 拡等

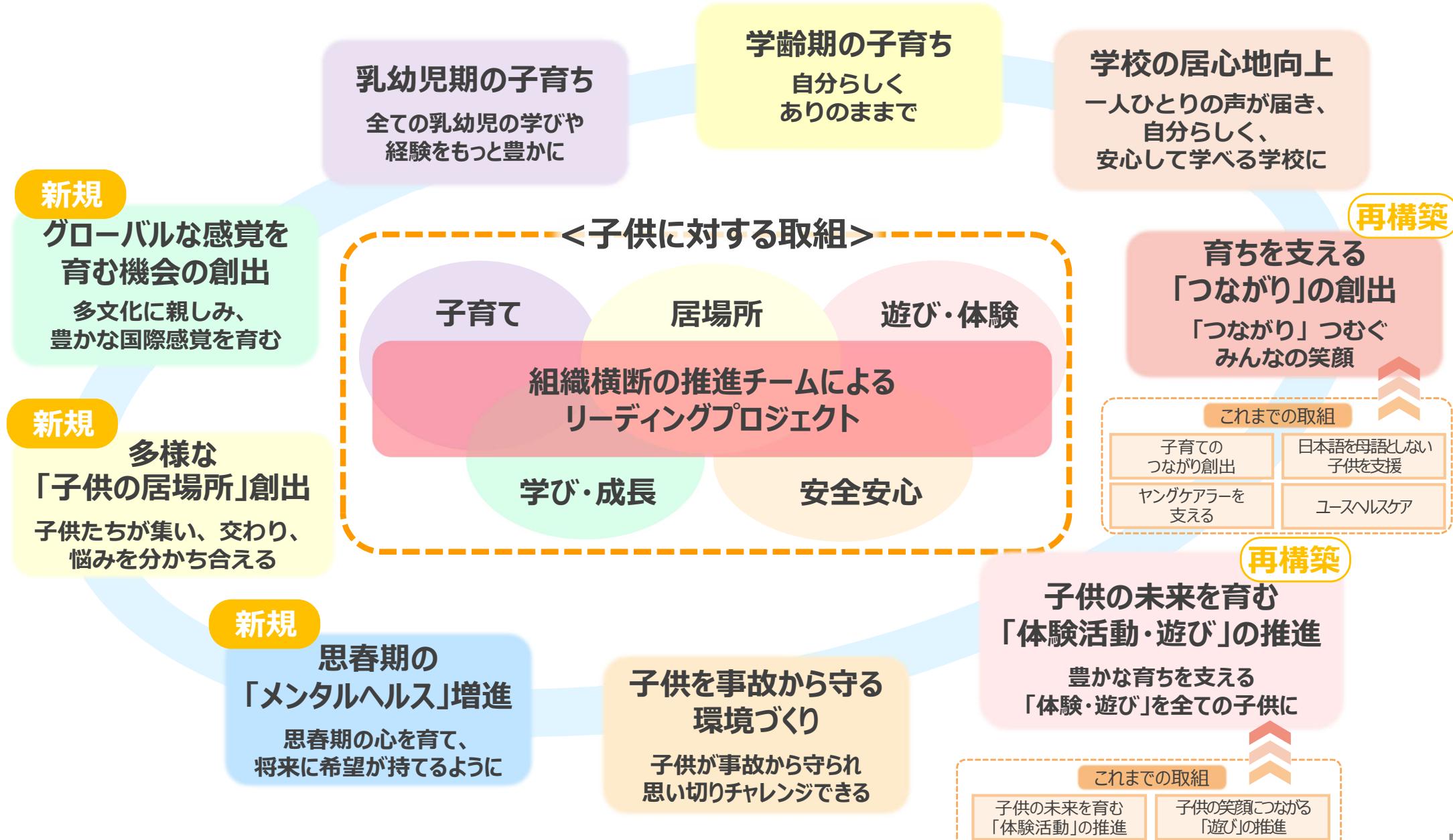


都市間のネットワークを生かした普及啓発

- 国内外の多様な主体との連携を通じ、条例理念の発信や意見交換等を行う場を創出
- こどもシンポジウム“TEENS SQUARE”
- 東京こども政策国際会議(TGFC) 等

組織横断で取り組むリーディングプロジェクト

- 既存の枠組みでは対応が困難な課題に対して組織横断的に取り組む、子供を「主体」として捉えたリーディングプロジェクトを展開
- これまでの取組により、着実な実施段階に至ったプロジェクトを再構築するとともに、新たに直面する課題に対しては、新規のプロジェクトを組成



新たなリーディングプロジェクト① 思春期の「メンタルヘルス」増進

未来を担う子供たちの誰もが将来に希望を抱くことのできる社会の実現に向け、思春期のメンタルヘルス対策を強化

心身の健康づくりの推進

メンタルヘルス増進プログラムの共同開発

心の不調の気づき・見守りの促進

中高生の自殺防止に向けた普及啓発

不安・悩みの深刻化の予防解消

学校における自殺対策の強化

思春期の子供のメンタルヘルスの増進

子供の日常の過ごし方が、
メンタルヘルスに与える影響等を調査

人間関係？

SNS ?

心の健康に影響を
及ぼす事象・行動

進路？

インターネット？

勉強？

今後のアクション（主要）

■ 思春期のメンタルヘルスにおける「レジリエンススキル」を向上 新

- 思春期の子供がメンタルヘルスのレジリエンススキルを身に付けることができるプログラムを、専門的知見を有する研究機関等と共同開発

【事業イメージ】



■ 中学生・高校生等の自殺防止に向けた普及啓発 新

- 中高生等の自殺防止を図るため、相談行動やセルフケアを促す特設ページを案内する啓発カードを、都内薬局等と連携して配布

■ 自殺対策のガイドラインの策定 新

- 有識者等で構成されるガイドライン策定検討委員会（仮称）を立ち上げ、学校等におけるガイドラインを策定

■ 子供の日常の過ごし方等調査（仮称）の実施 新

- 思春期の子供等を対象に、日常の過ごし方等を調査・分析

新たなリーディングプロジェクト② 多様な「子供の居場所」創出

子供一人ひとりの置かれている環境に寄り添い、子供の居場所を創出し、子供のウェルビーイングを向上



今後のアクション（主要）

■ 中高生の地域の居場所づくりに取り組む区市町村を支援

（トウキヨウ・ユースベース・プロジェクト）新

- 中高生の意見を取り入れた居場所づくりや、中高生自身が運営やプログラム企画に参画する居場所づくりに取り組む区市町村をハード・ソフトの両面から支援

【居場所のイメージ】



音楽スタジオ



バスケット



自由に過ごせるロビー

■ 地域の実情に応じた居場所設置を支援

新

- 地域の実情に応じた「居場所」を設置し、地域全体で子供や家庭を支援

■ 長期休暇期間中の障害児の居場所づくり

新

- 長期休暇中の障害児の居場所の確保を行う区市町村を支援

■ 校内居場所カフェの設置

拡

- 都立のチャレンジスクール等（3校）に校内居場所カフェを設置し、生徒が抱える様々な課題・悩みを早期発見

新たなリーディングプロジェクト③ グローバルな感覚を育む機会の創出

子供たちが将来、世界を舞台に活躍する未来を描けるよう、早くから多文化に親しみ、豊かな国際感覚を育む機会を創出

日本と世界を知り、
グローバルな素養を磨く

学校外の取組



幼児期



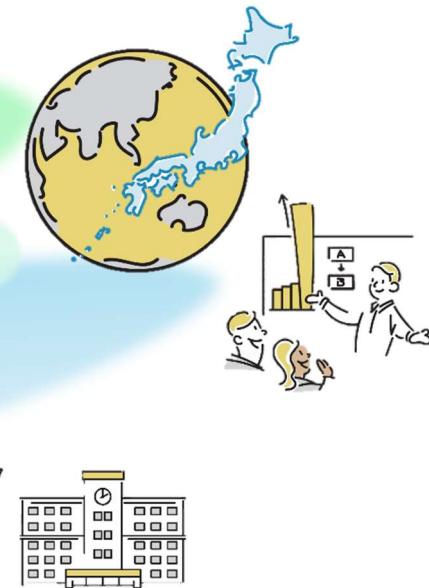
学齢期



高校段階



学校内の取組



今後のアクション（主要）

■ グローバルな感覚を育む機会の創出に向けたアドバイザリーボード（仮称）の設置 新

- グローバルな感覚を育む機会の創出に向けて、幼児期や学齢期における今後の取組の方向性等の検討にあたり、有識者の意見を参考にするために専門家会議を設置

■ 幼児期における国際感覚の涵養に係る取組を実施 新

- アドバイザリーボードの有識者の意見を参考にしながら、実地調査を踏まえ、幼児期における取組の方向性等を検討

■ 小・中学生向け英語・国際体験プログラムを実施 新

- TOKYO GLOBAL GATEWAYを活用し、世界の多様な文化・社会等を体験できるプログラムを実施

■ 都立高等学校海外留学等支援事業（3週間留学）新

- 3週間の短期留学制度を創設し、海外留学に関心がある生徒の第一ステップを後押し

■ 東京グローバル・パスポート

- 大学生等が海外留学の最初の一歩を踏み出すきっかけ作りをサポートするため、都独自に留学費用の一部を支援

■ 海外大学進学支援制度の創設に向けた支援スキーム等を検討 新

- 都内の高校生を対象とした海外大学進学支援制度の創設に向けて、支援スキーム等を検討

日常的な不安や悩み、困難に寄り添い、子供の育ちを支える環境を強化していくため、相談・支援に関する取組を総合的に推進

今後のアクション（主要）



■ 不安や悩みを気軽に相談できる環境づくりを強化



キュッとチャット 子供や子育て家庭が日常的な不安や悩みを気軽に話せる無料の相談チャット

» “キュッとチャット”を「相談」のファーストチョイスに

相談体制 強化

- 日中の相談回線を20回線に倍増するとともに夜間の相談対応時間を24時まで延長 拡
- AIチャットで相談内容を整理し、最適な窓口 ヘスムーズに案内 拡

認知度 向上

- 悩みを抱えやすい中高生への広報を強化 新
- 先輩パパママとして活躍中の著名人を、アンバサダーに任命し、子育て世代とつながる広報を展開 新
- 子育てインフルエンサーやLINEスタンプによる広報 新

アクセス 経路拡充

- 東京都こどもホームページやTokyo中高生Webサイト、各局のウェブサイトと連携 新

■ ヤングケアラーを支える

- デジタル広告等の活用により、ウェブサイト「ヤングケアラーのひろば」を戦略的に広報 拡
- ヤングケアラー当事者による座談会を開催し、交流機会を創出 拡



■ 日本語を母語としない子供を支援

- 地域の居場所として多文化キッズサロンを設置・運営する自治体を継続支援
- 日本語指導が必要な生徒に対する入試相談の体制強化 拡



■ 「ユースヘルスケア」の普及啓発

- ウェブサイト「TOKYO YOUTH HEALTHCARE」において、ヘルスケア情報を発信
- 若者を対象に、身体・心の悩みに関する相談支援等を行う医療機関の取組を支援 新



■ 子育て家庭を支援

- 子育て家庭を見守り・寄り添う、アウトリーチ型支援を充実
- 産婦健診・1か月・5歳児健診の実施促進及び体制を整備 新



官民の連携により、学校内外で様々な体験・経験の機会を創出し、子供の豊かな育ちを社会全体でサポート

今後のアクション（主要）

■ 子供の意見を反映した遊び場づくりの推進 新

- 子供の意見を反映したプレーパークづくりに取り組む区市町村を支援

■ 学校内外で様々な「体験活動」・「遊び」を創出 拡

- 子供の「体験活動」・「遊び」の機会創出に取り組む区市町村を支援

■ 「体験活動」・「遊び」の戦略的な発信 拡

- 子供の「体験活動」や「遊び」の大切さについて、分かりやすく親しみを感じる発信を実施



暑さ対策

子供の「体験活動・遊び」環境を取り巻く「暑さ」への対応

ハード・ソフトの両面から暑さ対策に取り組み、子供の健やかな育ちを支援

ハードの取組

プレーパーク・ボール遊び場

- 暑さ対策に取り組む区市町村を支援 新



プレーパーク内に日除けを整備した事例

屋内遊び場

- 暑さ対策に資する屋内遊び場を整備する区市町村を支援 新



子供の意見を踏まえて屋内遊び場を整備した事例

公園

- 都立公園じゃぶじゃぶ池の利用期間を拡大するとともに、クーラーテントを導入 拡
- 海上公園の遊具広場などに日除け休憩施設を増設 新

ソフトの取組

子供の「体験活動・遊び」における暑さ対策 新

- 暑さ対策を講じた子供の「体験活動・遊び」の機会創出に取り組む区市町村を支援
- 暑さ対策に資する備品の購入や研修の実施等を後押し

朝の子供の居場所づくり 拡

- 平日の朝に加え、新たに小学生の夏休みの午前中に体力や生活リズムを保つための体育館等での居場所づくりに取り組む区市町村を支援



暑さ対策の情報発信 新

- 「暑い中でも、対策して『体験活動』・『遊び』を楽しむことができる」という切り口で情報を発信



組織横断で取り組むリーディングプロジェクト

乳幼児期の子育ち

非認知能力の育成など、
全ての乳幼児の「伸びる・育つ」をサポート



■ 幼保共通の「とうきょう すくわくプログラム」を全域展開 拡

- ✓ 園の取組を継続的に後押し
- ✓ すくわくナビゲーター園制度の取組や研修会等、プログラムの更なる質の向上に向けた重層的な支援を実施



学校の居心地向上

学校風土を改善、子供が直面する問題の発生を未然防止

■ 東京都医学総合研究所等と連携し、取組を推進 拡

- ✓ 教育委員会と連携して高等学校3校及び中学校4校を追加し、取組を拡大
- ✓ 小学校での実践を通じて、取組のスキームを構築



学齢期の子育ち

学校生活になじめない子供が自分らしく成長できるよう、多様な学びの場・居場所を創出



■ 学校等での様々な不登校対策を多面的に展開

- ✓ チャレンジクラスで一人ひとりに応じた柔軟な学びを実現 拡
- ✓ 校内教育支援センター支援員の配置促進 拡



■ 多様な学びの場支援

- ✓ 不登校に関する情報をポータルサイトで一元的に発信
- ✓ 「幼稚園・保育所等から小学校への移行期ガイドブック(仮称)」の作成 新
- ✓ 多様な学びの場(フリースクール等)の利用者への助成、子供目線に立った取組を行う多様な学びの場(フリースクール等)への支援 拡



子供を事故から守る環境づくり



「防げる事故」を確実に防ぎ、
子供が安心してチャレンジできる社会を実現

■ 子供の事故情報データベースの利活用を促進

- ✓ 国等の関係機関と連携し、掲載データをタイムリーに更新

■ 産官学の連携による「子供の事故が起きにくい環境づくり」の推進 新

- ✓ 企業や大学・研究機関等が連携して取り組む研究や製品開発等を支援

■ エビデンス・ベースの予防策等の戦略的な発信 拡

- ✓ 「危ないところを変える」環境づくりの重要性や都における事故予防の施策・成果等を発信



子供政策強化に向けた重点アクション

政策の柱 1

誰一人取り残さない視点から、
子供へのサポートを強化

いじめ対策

- いじめ総合対策【第3次】（2025年6月策定）に基づき、
いじめ防止等の取組を一層推進
✓ 子供の発達の段階に応じたデジタルブックを作成



児童虐待防止対策

- ✓ 都児童相談所と子供家庭支援センターの連携強化
✓ 児童虐待防止の普及啓発 拡

子供の性被害防止

- ✓ 都立学校・児童福祉施設等において、従事者の特定性犯罪歴確認、体制整備など性暴力を防ぐための取組を確実に実施 新

医薬品の過剰摂取（オーバードーズ）対策

- ✓ 都内薬局等と連携したオーバードーズ防止啓発 新

政策の柱 3

「東京型教育モデル」により、
教育の質を向上

都立高校の変革「新たな教育のスタイル」の展開

- ✓ 「次世代の学びの基盤プロジェクト」を推進する教員研修・研究の検討 新
✓ 「新たな教育のスタイル」の実施校（仮称）の開設準備 拡

学校現場でのデジタル教育の推進

- ✓ 生成AIリテラシーの育成や、AIを活用した英語力の向上 拡
✓ 先端技術の実務経験を持つエンジニア等によるデジタル教育 新
✓ 社会のニーズに応える技術人材を継続的に育成・輩出するため、Neo工科高校改革プロジェクトを展開 新



特別な支援を必要とする児童・生徒に対する教育の充実

- ✓ インクルーシブ教育推進拠点校を設置し、
都立高校に在籍する障害のある生徒への支援を実施 新

政策の柱 2

子育て家庭に寄り添い、
子供の育ちを支える環境を充実

ライフステージを通じた切れ目ない支援の充実

- ✓ 経済的支援と伴走型相談支援を一体的に実施 拡
✓ 東京都住宅供給公社と連携し、既存の公社住宅をアフォーダブル住宅として子育て世帯等に供給 新



更なる保育の質の向上と全ての子供の育ちの支援

- ✓ 保育所におけるアレルギー児対応を強化 拡

学童クラブ等の整備・サービスの質の向上

- ✓ 都独自の国を上回る運営基準を満たす学童クラブを認証し、
運営費等の経費を補助 拡
✓ 夏休みの午前中に小学校を活用し、子供の居場所を提供 拡

暑さ対策

- ✓ 保育所等に日除けやミストシャワー等を導入する区市町村を支援 新
✓ 都立学校においてウェアラブルデバイスを配布し、熱中症を予防 拡

政策の柱 4

多様な主体と連携し、
子供の笑顔を育むアクションを展開

こどもスマイルムーブメント

- ✓ 社会全体で子供を大切にする気運を高めていくため、
様々な主体とともにムーブメントを加速する取組を展開
✓ 職業体験を希望する中高生と企業・団体とをマッチングする「TOKYO中高生職業体験サイト Job EX」
を通じて、職業体験の機会を創出 拡



育業の推進

- ✓ 異なる価値観等のギャップ解消に訴求する動画の発信 新

- ✓ 一定期間以上の男性育業や
複数の男性従業員が育業した企業への支援 新

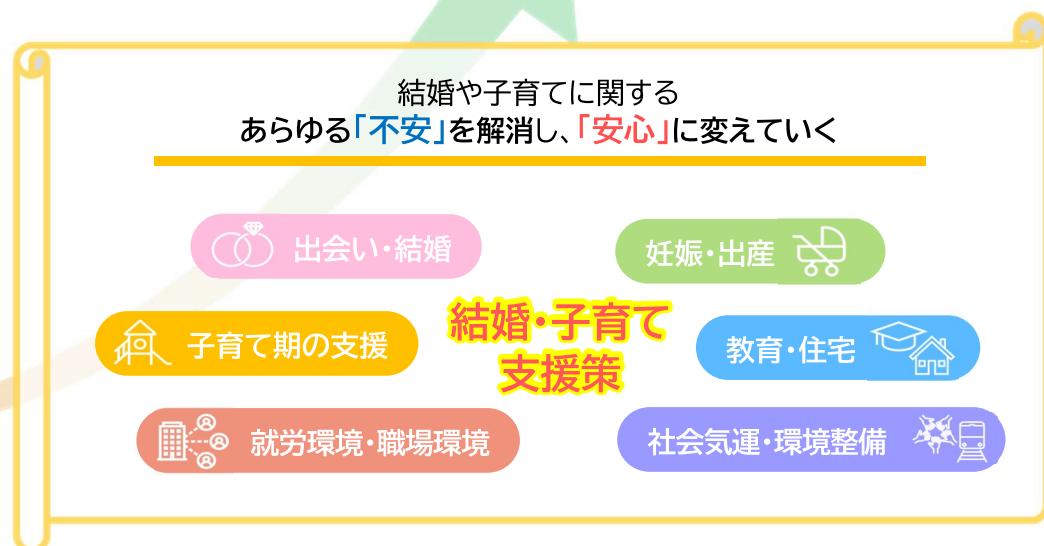
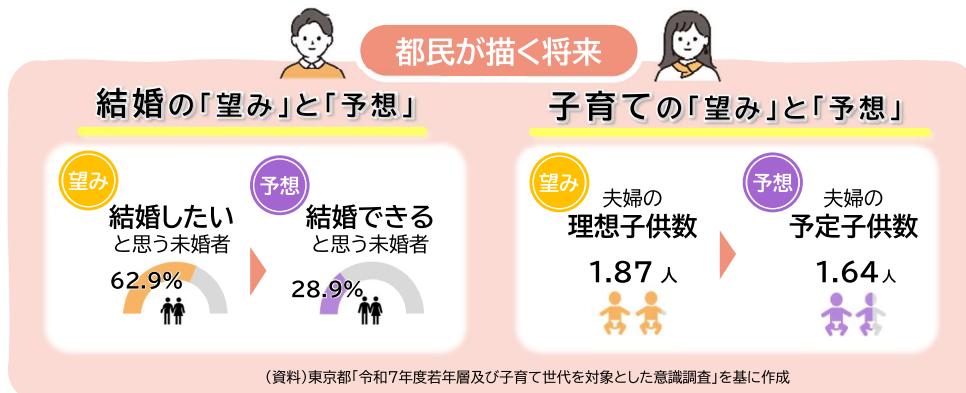


「叶えたい」を支えたい アクションプラン2026

「叶えたい」を支えたい アクションプラン2026（概要版）

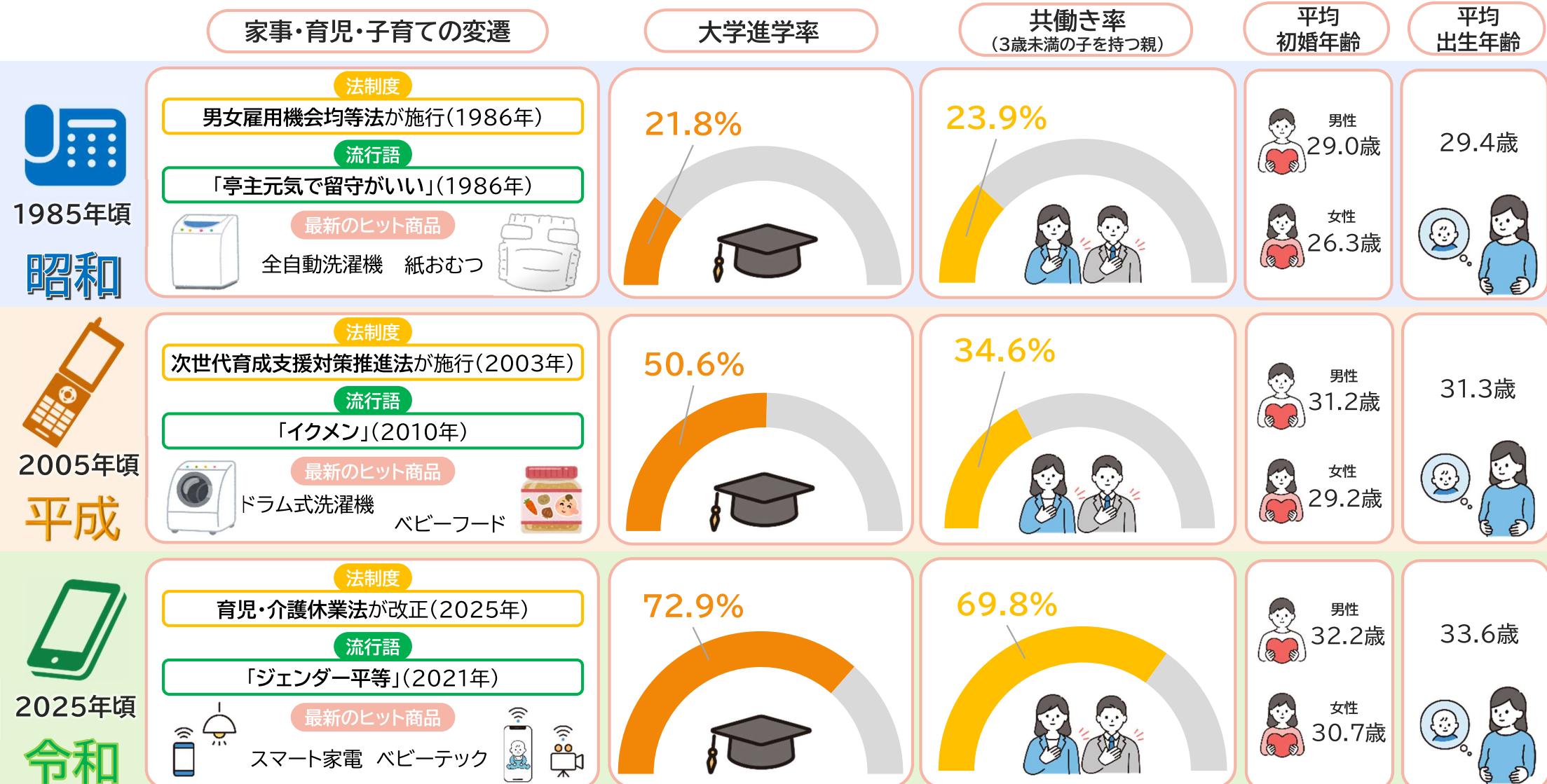
望む人が安心して子供を産み育てることができる社会の実現に向けて

- ・社会経済環境の変化や価値観の多様化など、時代の移り変わりとともに、人々のライフプランや日々のくらしは大きく変化
- ・「結婚したい」「子供を持ちたい」という望みを持ちながら、将来への不安・悩みを抱え、一歩を踏み出せない人も少なくない
- ・『叶えたい』を支えたい アクションプラン2026は、令和8年度に都が行う結婚・子育て支援策の全体像を整理したアクションプランであり、多様な価値観や考え方を尊重しながら、都民の不安や悩みに寄り添った結婚・子育て支援策を果斷に展開していく



変わりつつある東京の結婚・子育て

- 時代の変化に伴い、人々の価値観やライフスタイルは多様化し、結婚や子育てに関するトレンドも変化しています
- 都では、こうした結婚・子育てに関する変化を捉えながら、都民が抱える不安や悩みに寄り添う結婚・子育て支援策を積極的に展開しています



(資料)大学進学率:東京都「学校基本統計(学校基本調査報告)」、共働き率:東京都「東京都福祉保健基礎調査『東京の子供と家庭』」、平均初婚年齢:厚生労働省「人口動態調査」、平均出生年齢:国立社会保障・人口問題研究所「人口問題研究」を基に作成

統計値はいずれも都の数値

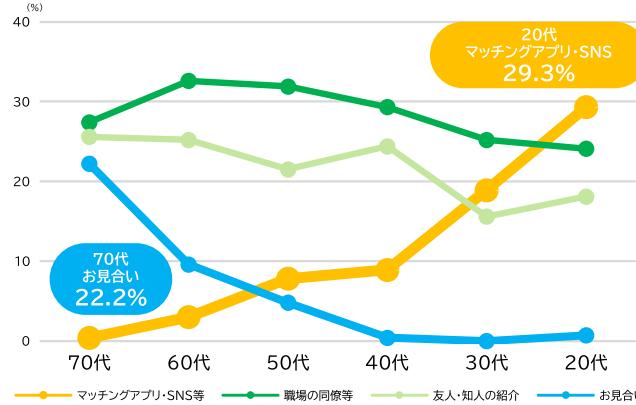
変わりつつある東京の結婚・子育て

変わりゆく出会いのきっかけ

主な出会いのきっかけは、お見合いや職場からマッチングアプリ・SNS等に変化してきているね



夫婦の出会いのきっかけ(2024年時点・全国)



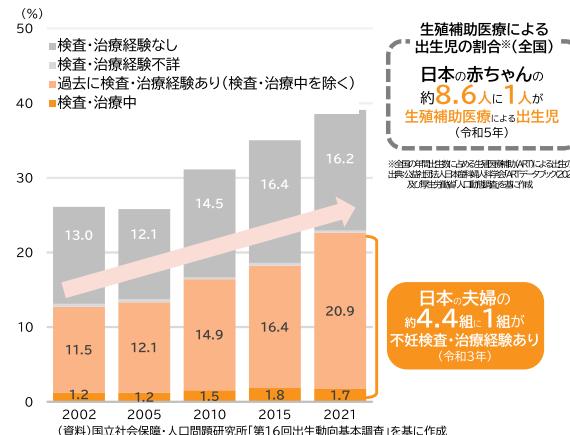
(資料)明治安田生命保険相互会社「いい夫婦の日」に関するアンケート調査を基に作成

不妊治療の経験がある人が増加

不妊治療の経験がある夫婦が増えているね
日本では、約4.4組に1組の夫婦が不妊の検査・治療を経験しているんだね



不妊について心配したことのある夫婦の割合と検査・治療経験(全国)



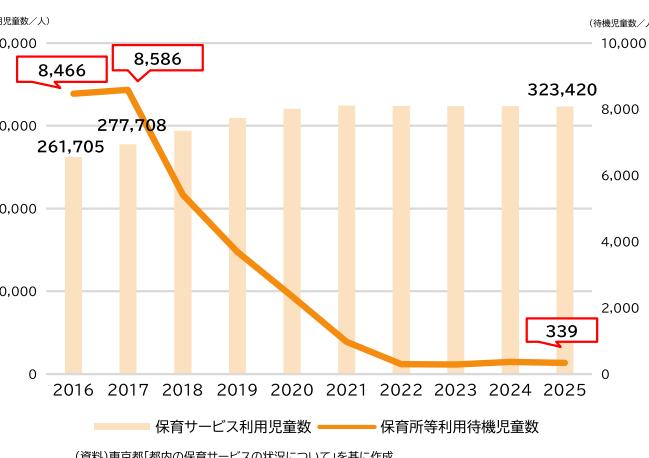
(資料)国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査」を基に作成

保育の待機児童はほぼ解消

保育園に預けたくても、預けられない人が多いたんだ
今では、都内の保育の待機児童はほぼ解消しているね



保育サービス利用児童数・保育所等利用待機児童数(都)



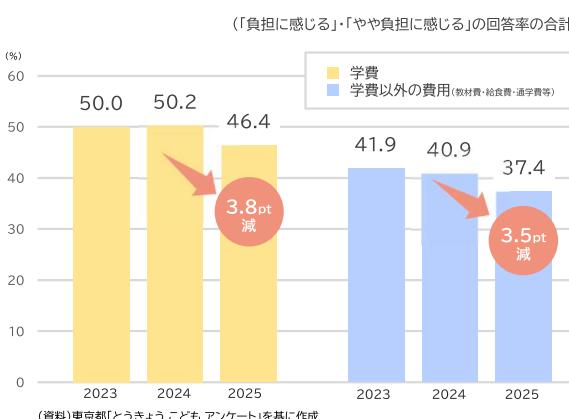
(資料)東京都「都内の保育サービスの状況について」を基に作成

教育に関する費用の負担感は軽減

都では教育費の負担軽減の取組を進めてきたんだよね
保護者の教育費用の負担感は減りつつあるね



学費・料費以外の学校にかかる費用の負担感の推移



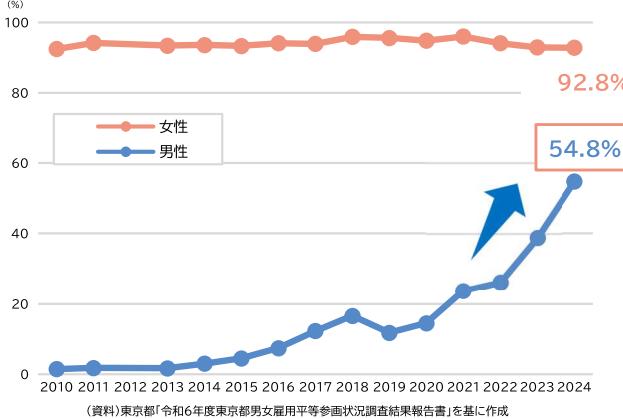
(資料)東京都「とうきょう こども アンケート」を基に作成
※調査対象:3歳児・小学校3年生・小学校5年生・中学2年生・17歳の子供の保護者

男性の育業取得率は50%超え

育児休業を取得する男性は多くなかったんだ
都内では、育業の推進に向けた取組や国の法改正等により、2024年には50%を超えたんだ



育児休業取得率の推移(都)



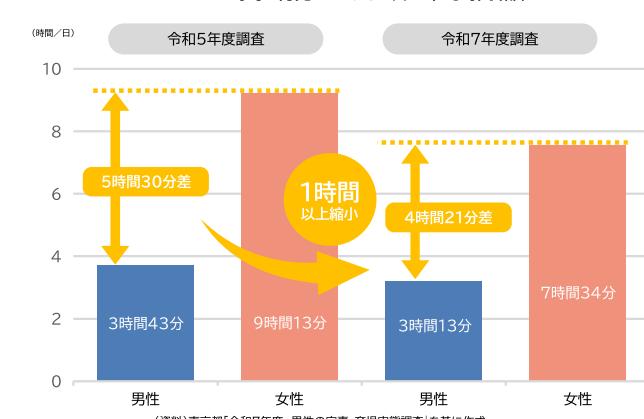
(資料)東京都「令和6年度東京都男女雇用平等参画状況調査結果報告書」を基に作成

男女の家事・育児時間の差は縮小

男性の育業取得率が増加していることに加え、保育園等の保育サービスや時短家電の活用などにより、家庭全体での家事・育児時間が減少しているよ



家事・育児にかける1日の平均時間(都)



(資料)東京都「令和7年度 男性の家事・育児実態調査」を基に作成

変わりつつある東京の結婚・子育て

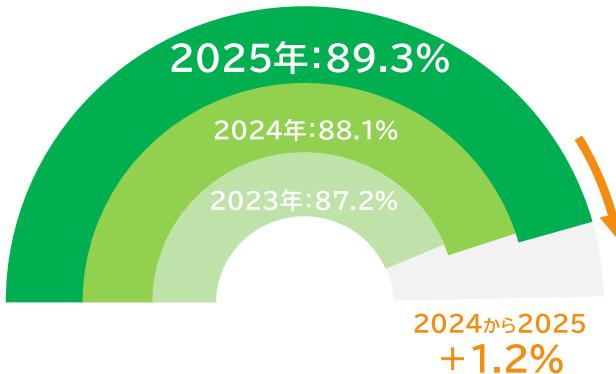
「子育てしやすい東京」へ

都内に居住する子育て層の約9割が、住んでいる地域が子育てに良い場所だと思っているよ！



住んでいる地域が子育てに良い場所であると思うと回答した人の割合(都)
(「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」の回答率の合計)

2年連続の増加！

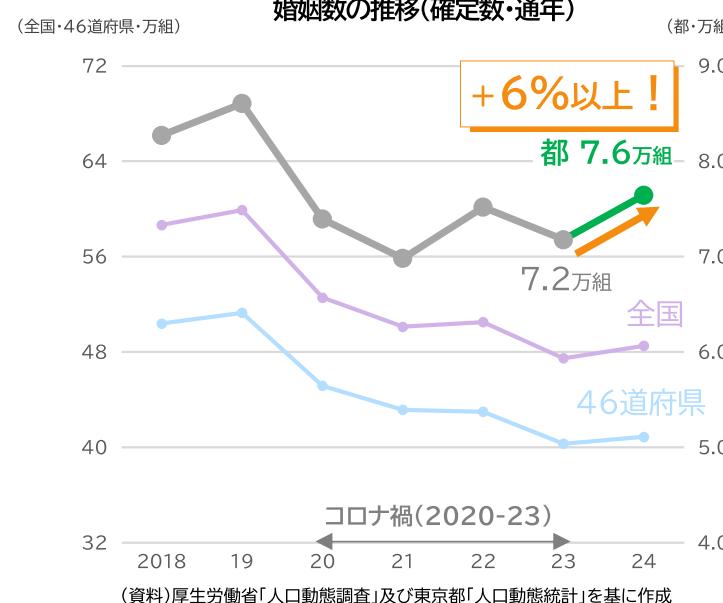


(資料)東京都「とうきょう こども アンケート」を基に作成
※調査対象:3歳児、小学3年生、小学5年生、中学2年生、17歳の子供の保護者



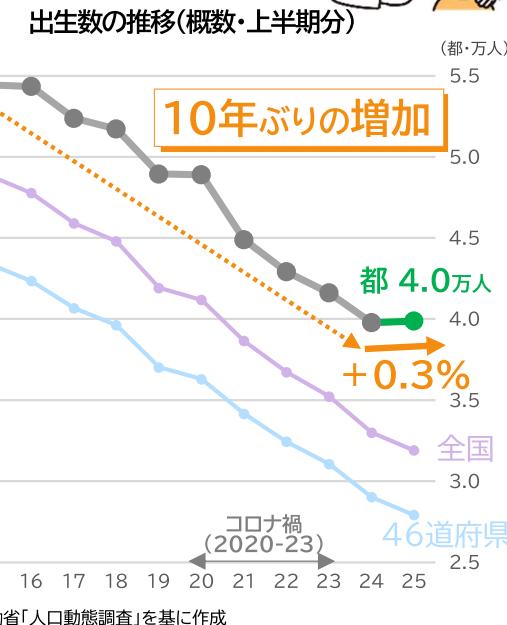
2024年、都の婚姻数は増加

都内では、出生数の先行指標とも言われる婚姻数について、2024年の件数が、前年から6%以上増加しているんだ！



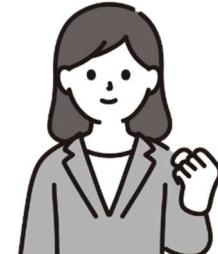
都内出生数の「下げ止まりの兆し」が明らかに

2025年上半年期の都内出生数は、0.3%増加したよ。プラスに転じるのは10年ぶりで、「下げ止まりの兆し」が明らかになってきたね



都はこれからも、社会やニーズの変化をとらえて

都民一人ひとりの思いに寄り添った施策 を展開していきます！



都の主な結婚・子育て支援策(令和8年度予算)



ライフステージをシームレスにサポートし、「子育てしやすい東京」を実現

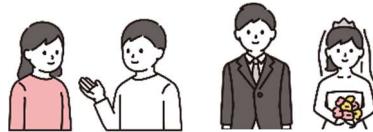


出会い・結婚

新 令和八年 結婚おうえん
キャンペーン



令和八年 結婚おうえんキャンペーン



拡 AIマッチングシステム
「TOKYO縁結び」

住宅

拡 アフォーダブル住宅の供給促進



拡 東京こどもすくすく住宅の供給促進



東京こどもすくすく住宅

就労環境 職場環境

新 女性向けキャリアチェンジ・キャリアアップ支援事業

新 女性の活躍推進に向けた職場環境改善プロジェクト

社会気運 環境整備

拡 こどもスマイルムーブメント
(育業の推進)



・ 若者世代職場定着促進事業

拡 「手取り時間」創出・エンゲージメント向上推進事業



妊娠・出産

拡 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

東京都出産・子育て応援事業

[R7補正予算]
赤ちゃんファースト+(プラス)
(R8.1月生まれ～R9.3月生まれ)

※国の重点支援地方交付金を活用

拡 東京ユースヘルスケア推進事業
(プレコンセプションケアの推進)



拡 不妊治療費助成



・ 卵子凍結への支援

拡 東京都無痛分娩費用助成等事業

子育て期の支援

0歳から18歳まで、切れ目のない経済的支援

保育所・幼稚園等
拡 保育料等
無償化

小・中学校
学校給食費
の負担軽減

高校等
高校等授業料
の実質無償化

大学等
都立大学等の
授業料実質無償化

018 ゼロイチハチ
サポート

[R7補正予算]
・ 子育て応援+(プラス)

0-18歳の全ての子供たちに
一人当たり月額5千円を支給

拡 子供・子育てセンター "ギュッとチャット"

乳幼児期

学齢期以降

拡 東京都病児保育推進事業

拡 ベビーシッター利用支援事業

拡 どうきょう すくわくプログラム
推進事業

拡 東京都認証学童クラブ事業

新 学童クラブ従事職員宿舎
借り上げ支援事業

新 私立小中学校等給食費等
負担軽減区市町村補助

新 私立中学校等授業料保護者負担
軽減臨時特別事業費補助

拡 男性の家事・育児促進に向けた
マインドチェンジプロジェクト

TEAM
家事・育児
みんなで考え方えていく！

拡 地域の底力発展事業助成

アクション2026（主な新規拡充事項）

令和八年 結婚おうえんキャンペーン



末広がりでおめでたい意味を持つ令和「八」年を「結婚のきっかけにしたい特別な1年」と位置づけ、

令和八年 結婚おうえんキャンペーン「TOKYO 八結び」を展開します！



令和八年 結婚おうえんキャンペーン

(※)東京ポイントプレゼントの対象者数やポイント数等の条件は後日公表

結婚気運の醸成

【気運醸成イベント】

令和8年8月8日のフェスタを
コアイベントとして、年間4回
のイベントを開催

実施規模

イベント計 うちフェスタ
参加枠:6,500人 5,000人
来場目標:8万人 5万人

【都民参加型イベント】

都民アイデア実施部門

「八」にちなんだ婚活イベントのアイ
デアを募集し、優秀なアイデアを活用
した都民参加型イベントを開催



応募者に888ptの
東京ポイントをプレゼント^(※)

都民イベント実施部門

「八」にちなんだ婚活・結婚関連の
企画を募集し、応募者が実施

優秀な企画8本:賞金50万円

婚活・結婚関連団体との連携

【お試し「結婚相談」(結婚相談所)】

- ✓ 「TOKYO縁結び」会員、888人にプロの相談員によるサポートを提供
- ✓ 一連のサービス(カウンセリング、プロフィール作成、相手紹介、お見合い)を体験

【IMS認証の認知拡大(マッチングアプリ)】

IMS認証^(※1)の認知拡大に協力いただくことなど
により、東京ポイントをプレゼント^(※)

(※1)消費者が安心して利用できるサー
ビスであることを第三者機関が審査し、
認証マークを付与する制度

【結婚カップルおうえん(式場・婚礼関係)】

団体加入の都内式場等で結婚式を挙げた方に、
キャンペーンの気運醸成への協力を依頼
協力してくれた方に東京ポイントをプレゼント



8,000組に
8,888pt

結婚支援マッチング事業

【交流イベント】

- ✓ 様々な企画を通じて楽しく交流できるイベント
を「八」にちなんだ日程や企画で開催
- ✓ 民間事業者団体と共に開催でのイベントを開催し、
参加枠を大幅に拡充

参加枠

R7年度
1,250人

R8年度
3,500人

【AIマッチングシステム「TOKYO縁結び」】

2人の記念となるタイミングで「八」キャンペーンの特典をプレゼント

真剣交際

- 真剣交際カップルに対して、
- ① キャンペーンの気運醸成への協力等で、
東京ポイントをプレゼント 250組500人に888pt
 - ② 抽選で美術館等のチケットをプレゼント

成婚

成婚レポート「縁結びの声」が掲出された
方に対して、東京ポイントをプレゼント



120組に8,888pt



～ 東京都の子育て世帯が安心して生活できる住環境の整備 ～

民間活力 や 既存ストックの活用 を図り、子育て世帯等が

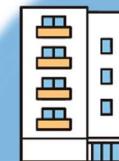
手頃な価格で安心して住むことができる住宅(アフォーダブル住宅)の供給を促進

金融スキームの活用

複数のファンドを組成し、
子育て世帯等向けに
アフォーダブルな住宅供給を実現



アフォーダブル住宅



賃貸マンション



中小ビル等

JKK東京(東京都住宅供給公社)と連携した公社住宅の活用

都と東京都住宅供給公社が連携し、
既存の公社住宅を
アフォーダブル住宅として供給



開発と合わせた導入

都市開発諸制度等による開発と
合わせたアフォーダブル住宅の
導入に向けた促進策を検討

リノベーションまちづくり

リノベーションまちづくりを通じた
アフォーダブル住宅の供給

都有地の活用

都営住宅の創出用地を活用し、
まちづくりとも連携した
アフォーダブル住宅供給等を検討

アクション2026（主な新規拡充事項）

■ 妊娠・出産

拡 東京ユースヘルスケア推進事業
(プレコンセプションケアの推進)

拡 不妊治療費助成

**R7
補正** 東京都出産・子育て
応援事業(出産後)

➤ 若い世代が将来の妊娠・出産に関する正しい知識を身に付け、**プレコン**に取り組むきっかけとなるよう、妊娠・出産に関する適切な知識の普及などの取組を推進



■ 子育て期 の支援

**R7
補正** 子育て応援+(プラス)

新 学童クラブ従事職員
宿舎借り上げ支援事業

拡 子供・子育てメンター
“ギュッとチャット”

➤ 子供を望む方が、**経済的な事情に関わらず**安心して不妊治療に取り組めるよう支援を強化

➤ 国の交付金を活用し、出産後の子育て家庭への負担を軽減するため、**令和8年1月1日～令和9年3月31日**の間に子供が生まれた家庭に対し、従来の10万円に**3万円**を加え、国制度と合わせ、**18万円相当の支援**を実施



■ 教育・住宅

新 私立小中学校等給食費等
負担軽減区市町村補助

新 私立中学校等授業料保護者
負担軽減臨時特別事業費補助

➤ **区市町村**が、公立小・中学校における支援との均衡を図るため、**私立小・中学校等**に通う児童・生徒の保護者に対し、**給食費相当額の補助**を実施する場合に、都が**1/2を支援**

➤ **私立中学校等の保護者の学習費負担は増加傾向**にある中、**令和8年度前半までは実質賃金はマイナス**の状況が続くと見込まれる。こうした状況などを勘案し、**都内に居住し私立中学校等に通う生徒の保護者**に対し、**所得にかかわらず2万円**を措置(**令和8年度**)

■ 就労環境 ・職場環境

新 女性向けキャリアチェンジ・
キャリアアップ支援事業

拡 「手取り時間」創出・エン
ゲージメント向上推進事業

➤ スキルの習得やキャリアアップにつながる**訓練**に加え、**就職支援**を一体的に実施することで、**非正規雇用で働く女性等のキャリアチェンジ・キャリアアップ**を推進

➤ 従業員の**「手取り時間」の創出等**を図るため、専門家派遣と、**超過勤務削減や賃金引上げ等**を並行して行い、企業の取組を迅速に支援



■ 社会気運 ・環境整備

拡 こどもスマイルムーブメント
(育業の推進)

拡 地域の底力発展事業助成

➤ 育児を「休み」ではなく「大切な仕事」と捉え、「**育業**」を**社会全体で応援する気運醸成の取組**を推進



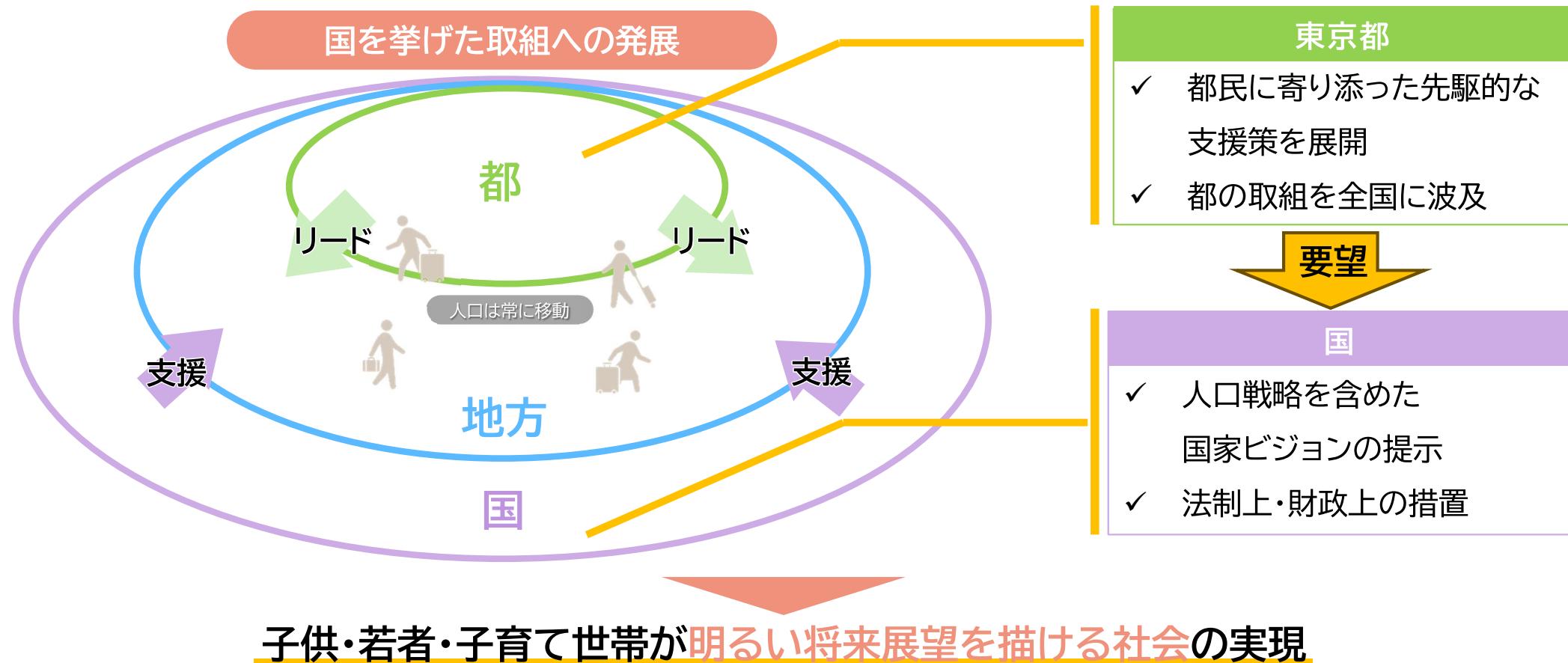
➤ **町会・自治会**による**地域の課題解決**に向けた取組を支援する事業において、子供・若者の育成に加え、**地域で子育て等を応援する活動**を取り上げ、**地域全体で子育てや女性活躍を後押しする取組**を強化



都の取組を全国へ波及させることの意義

国を挙げた取組の必要性

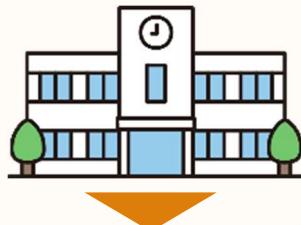
- 少子化は、社会の存立基盤を揺るがす国家的な課題であり、国が戦略的に取り組むべきものです。
- 少子化に対処するには、すべての子供・若者・子育て世帯が明るい将来展望を描けるようになることが大切であり、都の先駆的な取組を全国に波及させ、国を挙げた取組に発展させることが重要です。
- そのために、国は、人口戦略を含めた国家ビジョンを示し、法制上・財政上の措置を行うことが必要です。
- 都は、望む人が安心して子供を産み育てることができる社会の実現に向け、引き続き都民に寄り添った支援策を果断に展開し、国や地方をリードしていきます。



国に影響・波及した都の取組と国への要望

国への影響・波及

高校等授業料の無償化



国のR8予算案に計上

学校給食費の負担軽減



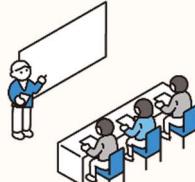
国のR8予算案に計上

所得制限のない支援

018 ゼロイチハチ
サポート

児童手当の所得制限撤廃

卵子凍結に係る取組



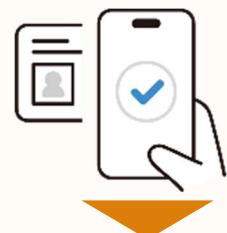
国のR7補正予算に計上

無痛分娩の環境整備



国のR7補正予算に計上

こどもDXの推進



都の取組を基に国が全国展開

国への要望事項

I 人口戦略を含めた国家ビジョンの提示



- 出生数の減少は、国の将来推計より約15年前倒しで進行し、将来を担う若年層の人口にも大きく影響
- 国は、実態に則した将来推計人口を示した上で、どのように国を運営し、持続可能な社会をつくりあげていくのかについて、人口戦略を含めた将来の国家ビジョンを掲げること

II 経済成長政策、社会保障制度の構築



- 出生数の減少は、経済活動の担い手である労働力人口の減少や、社会保障機能の低下につながる
- 国は、若者が日本の社会経済や自分自身の未来に対して明るい将来展望を描けるよう、実効性ある経済成長政策や、現役世代の負担を抑制しながら安定的で持続可能な社会保障制度を構築すること

III 自己実現を後押しする分厚いナショナルスタンダードの確立



- 「出会い・結婚」「妊娠・出産」「子育て・教育」「育児と仕事を両立できる就労環境」に関して、分厚いナショナルスタンダードの確立に必要な法・制度等を整備すること
- 上記に関し、國の方策が講じられるまでの間、地方自治体の取組へ財政支援を講じること

ポケットブック

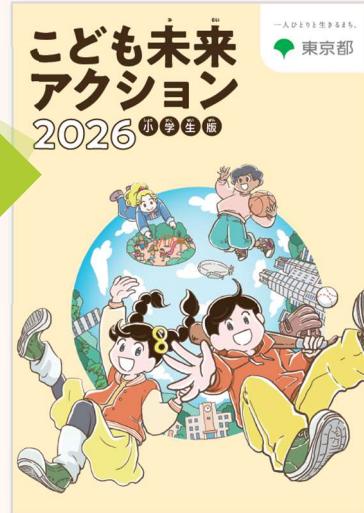
こども未来アクション2026



「叶えたい」を支えたい アクションプラン2026



小学生版



(2月作成予定)

中高生版



(2月作成予定)

やさしい
ことば版



(2月作成予定)